紫竹昭葉さんの死を悼む。

今月6月4日、紫竹ガーデン代表の紫竹昭葉さんが亡くなりました。享年94才でした。

振り返れば、ＧＩＨ活動が始まるきっかけとなった、「北海道ガーデン博（仮称）を考える道民の集い」（2003年11月25日）で紫竹さんに講演をしてもらったことが、GIHと紫竹さんとの最初の出会いだったと思います。

その講演の中でも話していましたが、彼女がいつも口にしていた“北海道を花の島にしましょう”という言葉が羅針盤のようになって、その後のガーデンアイランド北海道の誕生につながったように思っています。

それから20年間、ガーデン界にもいろいろ変化がありましたが、いつも変わることなくGIHを応援してくれました。北海道のガーデンの魅力とその可能性を自ら実証した、紫竹さんの功績は非常に大きく、その思いを、今後私たちが引き継いでいかなければならないと思っています。心よりご冥福をお祈りいたします。

祭壇に置かれた紫竹さんの笑顔が印象的でした。その笑顔を、いつまでも私たちの心の中にしまっておきたいと思います。

来年開催の全国都市緑化フェアまで後１年。

北海道、恵庭市、公財)都市緑化機構の共催で実施する第39回全国都市緑化北海道フェア（愛称 ガーデンフェスタ北海道2022）が開催まであと1年に迫りました。昨年11月にオープンしたメイン会場となる恵庭市の花の拠点（はなふる）では、道内を代表するガーデナーの方々が植栽した植物も順調に育ち、来年夏のイベントの開催を待たず、すでに花が咲き始めています。また、恵庭市民が中心となってこのイベントを支える「サポーターズクラブ」も来年に向け、活発にその準備を進めています。ＧＩＨとしても、この機会を利用して、都市緑化フェア実行委員会と協働でガーデンツーリズムの普及に向けた取り組みを行う予定です。

恵庭市ホームページより

6 月予定の GIH ガーデンツアーは 8 月に延期になりました。

6 月 24 日（木）に予定しておりました十勝ヒルズ及び大森ガーデンなどをめぐる今年のガーデンツアーは、新型コロナウィルスの感染拡大防止に配慮して、8 月下旬に延期することとしました。ただし、今後の状況によっては、再度日程変更又は中止の可能性もあるかと思いますので、その点ご了承ください。ご予定をされていた方には大変申し訳なく思いますが、8 月の開催の有無については、できるだけ早くご案内させていただきたいと思います。

GARDEN ISLAND HOKKAIDO
www.gih2008.com

NPO法人ガーデンアイランド北海道
〒060-0003　札幌市中央区北２条西13丁目1-10
TEL:011-213-1865　FAX:011-213-1866　Mail:info@gih2008.com

GARDEN NEWS LETTER
GIH だより
みんなでつくろう
庭園の島・北海道
2021. 6 月号

昨年の1月頃より急速に感染拡大した新型コロナウィルスは、数度にわたる緊急事態宣言にもかかわらず、まだまだ猛威をふるっています。そうした中で、ワクチン接種に大きな期待がかかっていますが、以前のようなどこにでも行ける状況に戻るにはもうしばらく時間がかかりそうです。

でも今回のコロナ禍により自宅で過ごす時間が多くなったことで、あらためて自分の仕事や生活のあり方、余暇の過ごし方を考え直す良い機会になったのではないでしょうか。最近のガーデニング人気はその一つの表れかと思います。アフターコロナに向けその動きが広がって、北海道のガーデンがより一層注目されることを願いたいです。

ＧＩＨも、先月の総会で、理事・監事の改選があり、新たなメンバーによる新体制ができました。是非、今後のＧＩＨの活動に期待していただきたいと思います。

2020 年度事業報告及び収支決算

５月26日、ＮＰＯ法人ガーデンアイランド北海道の定期総会が、今年は新型コロナウィルスの感染拡大のため書面決議という形式で開催されました。総会では令和２年度の事業報告、決算報告とともに2021年度（令和3年度）の事業計画、収支予算が承認されました。

また、ＧＩＨ役員全員の任期満了に伴って、新たに役員が選任されましたのでご報告いたします。

■2020 年度事業報告（令和２年４月１日～平令和３年３月 31 日）

Ｉ. 普及啓発活動

（1）花のまちづくり支援

地域における花いっぱい運動や花の町づくり活動の支援を目的に、昨年度までの3年間業務を受注し運営協力を行った札幌市厚別区の花のまちづくり事業（ガーデニングセミナーの運営等）について、その事業を通じて結成されたボランティアグループの活動を支援しました。

（2）市民会館「かなもとホール」での植栽活動

札幌市では毎年、「かなもとホール」（札幌市民ホール）前に、市民や企業との協働による緑化活動（大型プランターの花植え活動）を行っています。今年度は、札幌市からの要請を受け、GIHと近くに本社のある北海道テレビ放送（HTB）との協働で、12基の大型プランターにブルーサルビア、ペチュニア等の植栽を行いました。

2. 北海道の花と緑に関する情報収集・発信事業

（1）ウェブサイトによる情報発信

GIHのウェブサイトを通じて、北海道の花やガーデンの情報を国内外に発信しました。

3. 北海道の花と緑のネットワーク化・交流促進に関する事業

（1）北海道ガーデンマップ2020の発行

全道の主要ガーデンを網羅した「北海道ガーデンマップ2020」を発行し、GIH会場、道の駅、主要観光案内所等で配布しました。

・発行部数：27,000部　・発 行 日：2020年4月1日

（2）GIHだよりの発行

会員を対象にGIH活動の状況、予定などを紹介する定期的な広報誌（ニュースレター）を作成、配布しました。

4. ガーデンツーリズム事業

（1）GIHツアーの開催

新型コロナウィルスの感染拡大防止のため中止しました。

（2）札幌都心花と緑のガイドツアー

上記と同様の理由で中止しました。

（3）その他ツーリズム関連事業

2022年に恵庭市で開催される全国都市緑化フェアの応援と国際交流を目的に、ＧＩＨ及び（公財）札幌国際プラザの共催により、留学生、外国籍市民が恵庭市民と花を通じて交流し、花の町恵庭の魅力知るツアーを開催しました。留学生たちは地元のボランティアとの協働で、国道36号線沿いの緑地にアナベル及びスイセンを植栽しました。

日時：2020年10月17日
参加人数：19人 恵庭ボランティア6名、札幌国際プラザ4名、恵庭市役所4名、GIH5名

■2020 年度収支決算報告（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）

【収入の部】　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差異	備　考
1．会費収入	1,000,000	892,000	△ 108,000	
2．事業収入	1,255,000		△ 427,200	
3．助成金・事業負担金収入	50,000	0	△ 50,000	
4．寄付金収入	0	0	0	
5．受取利息収入	1	8	7	
6．雑収入	0	2,245,462	2,245,462	持続化給付金他
収入合計	2,305,001	3,965,270	1,660,269	

【支出の部】

科　目	予算額	決算額	差異	備　考
Ⅰ．事業費支出				
1．普及啓発活動費	70,000	12,837	△ 57,163	
2．情報発信活動費	120,000	132,000	12,000	
3．交流・ネットワーク活動費	789,360	778,360	△ 11,000	
4．ガーデンツーリズム事業	218,000	212,543	△ 5,457	
5．その他事支出	0	0	0	
事業支出計	1,197,360	1,135,740	△ 61,620	
Ⅱ．管理費支出				
1）人件費	200,000	599,960	399,960	パート賃金、交通費
2）地代家賃	417,246	421,068	3,822	
3）水道光熱費	66,318	72,952	6,634	
4）通信費	119,629	137,446	17,817	
5）事務用消耗品	40,000	63,910	23,910	
6）租税公課	72,000	71,196	△ 804	
7）その他	181,782	295,635	113,853	
管理費支出計	1,096,975	1,662,167	565,192	
支出合計	2,294,335	2,797,907	503,572	
当期収支差額	10,666	1,167,363		
前期繰越収支差額	372,109	372,109		
次期繰越収支差額	382,775	1,539,472		

■2020 年度　特定非営利活動に係る事業会計　貸借対照表

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		**【流動負債】**	
（現金・預金）		未払金	10,792
現金	5,097	前受金	20,000
普通預金	976,954	流動負債　計	30,792
現金・預金　計	982,051	負債合計	30,792
（その他流動資産）		**正味財産の部**	
前払費用	35,089	**【正味財産】**	
その他流動資産　計	35,089	前期繰越正味財産額	372,109
流動資産合計	1,017,140	当期繰越正味財産額	1,156,571
【固定資産】		正味財産　計	1,528,680
（有形固定資産）		正味財産合計	1,528,680
什器備品	99,282		
有形固定資産　計	99,282		
（無形固定資産）			
ソフトウェア	368,800		
無形固定資産　計	368,800		
（投資その他資産）			
敷金	74,250		
投資その他資産　計	74,250		
固定資産合計	542,332		
資産の部　合計	1,559,472	負債及び正味財産　合計	1,559,472

2021 年度事業計画

1．普及啓発活動

（1）花のまちづくり支援

地域における花いっぱい運動や花の町づくり支援を目的に、地域への講師派遣や地域が開催するセミナー等の企画運営を協力します。今年度、新規の事業はありませんが、過年度支援してきた厚別区の花のまちづくりをサポートします。

（2）ガーデン講習会の開催

昨年度は新型コロナウィルスで中止せざるを得なかったガーデニングの基本を学ぶスキルアップセミナーを再開します。場所は札幌を基本としますが、地方での開催も検討します。

2．情報発信活動

（1）北海道ガーデンマップの発行

全道の主要ガーデンを網羅した「ガーデンマップ」を発行し、GIH 会場、道の駅、主要観光案内所等で配布します。（すでに配布済）

・発行部数：20,000 部　・発行日：2021 年 4 月 5 日　　・定価　　無料

（2）WEB サイトによる情報発信

上記のガーデンマップと連動する形で、ウェブサイトを通じて北海道の花やガーデンの情報を国内外に発信します。

3．交流ネットワーク活動

（1）ガーデンツアーの開催

昨年、同じく新型コロナウィルスで中止となったガーデンツアーを再開します。今年は、十勝を中心としたツアーを企画、開催し、次に示すガーデンツーリズム支援の一環とします。

（2）恵庭市で開催予定の全国都市緑化フェア―の支援

恵庭市で 2022 年 7 月に開催予定の標記事業に関して、恵庭市と協働でガーデンツーリズムの推進に向けた取組を行います。

＊なお、上記計画は、新型コロナウィルスの感染状況によっては変更の可能性があります。

2021 年度　GIH 新役員名簿

理事長	内倉真裕美 ブレインズ代表	（新）理事	福原　賢二 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 北海道支部長
副理事長	大塚　英典 株式会社ドーコン	（新）理事	牧野ふみよ NPO法人 Green Works 代表
理事 事務局長	有山　忠男 株式会社ライヴ環境計画代表取締役	理事	三島　敬子 NPO法人FIT北海道会議代表理事
（新）理事	愛甲　哲也 北海道大学大学院農学研究院准教授	理事	三石　浩司 有限会社コテージガーデン代表取締役
理事	赤嶺　太紀子 高野ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ株式会社取締役	（新）理事	笠　康三郎 有限会社緑花計画代表取締役
（新）理事	嘉屋　幸浩 一般社団法人北海道造園緑化建設業協会会長	（新）監事	黒田　秀徳 一般財団法人北海道開発協会開発調査総合研究所 主席研究員
理事	木村　　篤 道路建設株式会社取締役副社長	（新）監事	村上　恒久 株式会社環境緑地研究所代表取締役
理事	中山美樹子 フリーランス		